

若者たちの集える環境づくりについて（新規）

2021年に開催された「東京オリンピック2020」での日本人選手の活躍などから、スケートボードが大きな注目を集めました。スケートボードに代表されるストリートスポーツは人気再燃し、桐生でも若者を中心に様々な場所でスケートボードに興じる姿を見ることができますが、その多くは公共の場であり、事故や器物破損のリスクを伴っております。実際にJR桐生駅の南口広場では、騒音などにより警察が出動するケースも発生しました。

つきましては、若者たちが健全にストリートカルチャーに触れ、スポーツとしてスケートボードをはじめとするストリートスポーツに勤しむことができる施設（パーク）の整備を要望いたします。安全に競技できる環境を整備することで、アスリートの人材育成や新たな関係人口の獲得につながる可能性も秘めておりますので、現在、老朽化が進む桐生スケートセンターや、撤去が決まっております境野水処理センターの屋上公園の再活用案として、何卒ご検討をお願い致します。

桐生市からの回答

スケートセンターの運営については、施設の老朽化による財政負担が大きく、民間事業者の知恵や力を借りて運営する可能性を検討するため、サウンディング型市場調査を実施いたしましたが、有効な提案はなく、現在も検討を重ねているところです。

このため、現時点は再活用案を検討する段階ではございませんが、今後検討を行う際には、他の公共施設の状況や地元住民の意見などを踏まえながら進めてまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 市民生活部スポーツ・文化振興課スポーツ振興担当

境野水処理センター屋上公園につきましては、下水処理施設の屋上を利用し、地元住民の憩いの場として整備されておりますが、下水処理施設稼働より50年以上が経過しており老朽化が著しく、耐震性能も満たしていないことから施設の改修工事は喫緊の課題となっております。

令和3年度に下水道事業ストックマネジメント全体計画を策定し、下水処理施設の改修計画についての検討を行いました。現在の計画では令和7年度に屋上公園施設の撤去を開始し、令和31年までに下水処理施設の改修工事を行う予定となっており、新たな公園等の施設につきましては、地元住民と協議の上、検討していきたいと考えております。

〔回答担当〕 水道局境野水処理センター管理係